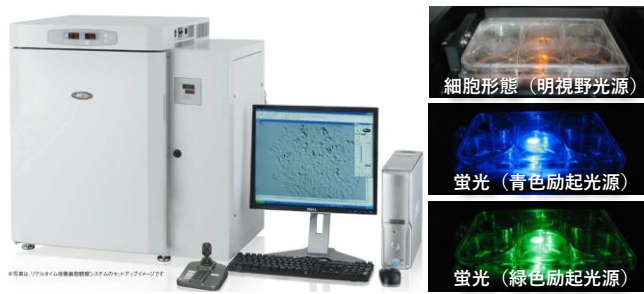


CCM-XYZ 蛍光2波長観察モデル



特徴

- ・長期培養可能なカメラ埋込型インキュベーター (95%以上の高湿度・庫内温度分布 $\pm 0.3^{\circ}\text{C}$)
- ・低酸素培養可能 (2.0~20.0%)
- ・2波長観察可能 (470nm、550 nm peak)
- ・96Well プレート等各種ディッシュに対応可能

長期培養・観察に適した一体構造 庫内イメージ図



偏斜照明(明視野観察時)

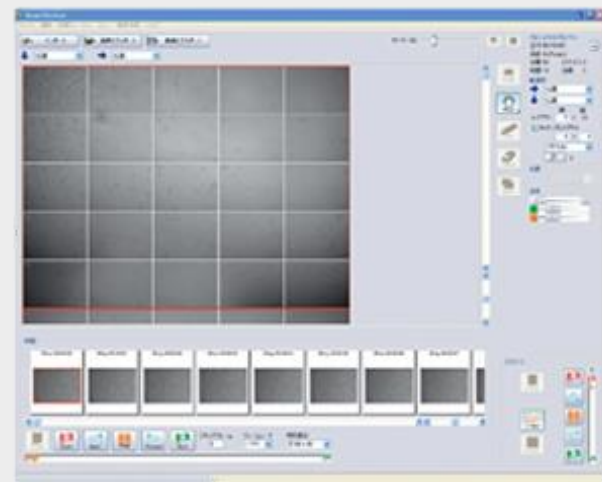
対物レンズ
x4,x10,x20に変更可能

あらゆるディッシュに対応可能



96well プレート以外にも
35mm,60mmディッシュ
が設置可能

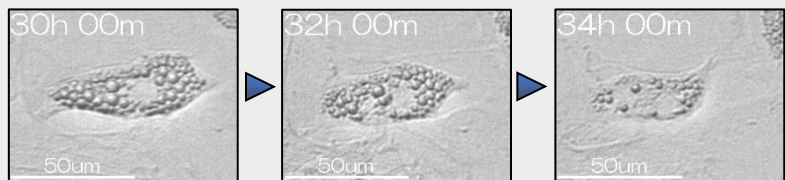
画像解析ソフト ASBRO



特徴

- ・一定の時間間隔で複数箇所を撮影し動画化
- ・モニタリング中の編集作業が可能
- ・広い範囲の情報を得られるタイリング撮影も可能

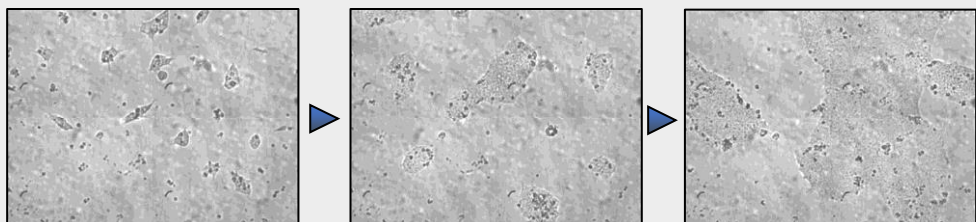
タイムラプス撮影例



初代ラット褐色脂肪細胞の脂肪滴消失

再生医療関連画像

- 培養バッグ内でのiPS細胞の培養試験 (2×2のタイリング撮影)。
- iPS細胞がバッグに接着し生着。
- コロニーが大きく成長していく様子が捉えられています。
(使用細胞：iPS細胞、培養容器：培養バッグ)



経過時間： 0h 30h 54h

CCM-XYZ 蛍光2波長観察モデル撮影例

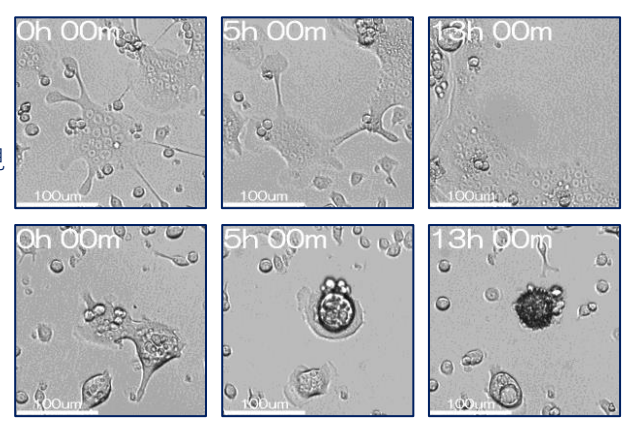
撮影例1 酸素濃度による影響

破骨細胞多数の細胞融合により巨大化しますこのとき酸素濃度が低い状態が継続すると細胞融合が抑制されるばかりか細胞死までも誘導されることが確認されます

(使用細胞：破骨前駆細胞)

通常酸素濃度
細胞融合促進
多核細胞が出現

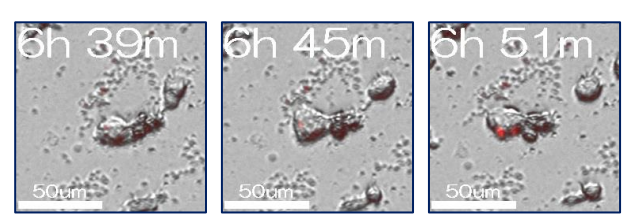
低酸素濃度
細胞融合抑制
細胞死が誘導



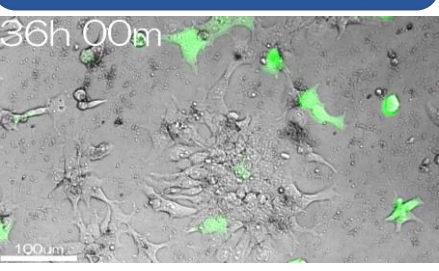
撮影例2 細胞の貪食現象

貪食作用により細胞外の粒子が食胞内に取り込まれやがて食胞内pHが酸性となることで粒子に結合していたpH応答性蛍光色素からの赤い蛍光が確認されます

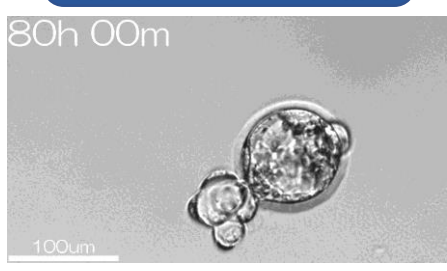
(使用細胞：活性化マクロファージ)



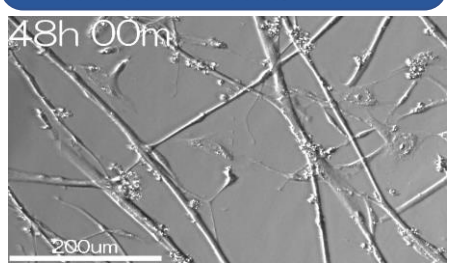
撮影例3 GFPタンパク質発現



撮影例4 マウス受精卵



撮影例5 筋線維の形成



導入コスト

品名	型式	定価
本体装置	CCM-1.4 II D/C	¥9,260,000-
解析ソフト	ASBRO	¥480,000-
専用PC		¥280,000-
搬入費用		¥100,000-
合計		¥10,120,000-

→ **キャンペーン価格**
¥5,500,000-

注：2020年3月31日受注分まで

お問い合わせ先

東京営業所
TEL:(03)-3834-4485 FAX:(03)-3834-4626

大阪営業所
TEL:(06)-6838-3108 FAX:(06)-6305-4616



E-mail : hongo@astec-bio.com (担当：本郷)

E-mail : yamamoto@astec-bio.com (担当：山本)